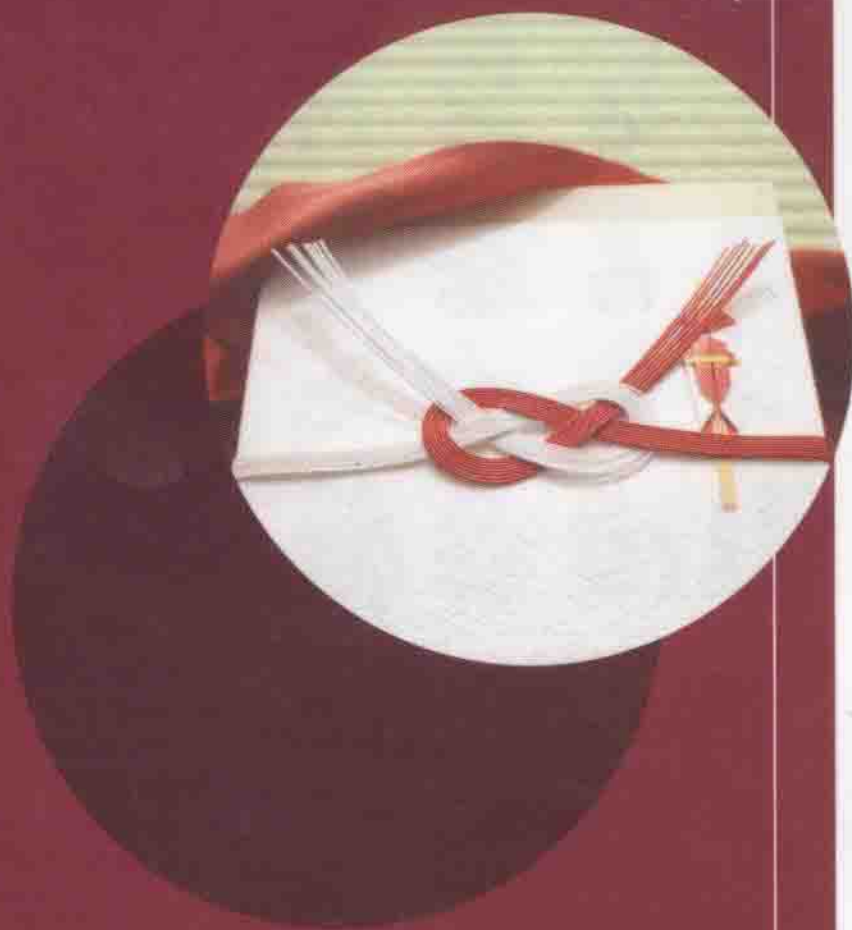


飯倉晴武 [監修]

Harutake Ikura



# 日本人 礼儀作法のしきたり



青春新書  
INTELLIGEN

訪問先での手土産の渡し方は？

誕生・栄転・長寿…のお祝いの仕方の違いは？

——伝統のマナーに込められた人づきあいの原点

青春出

読者のみなさんへ

この本をお読みになって、特に感銘をもたれたところや、ご不満のあるところなど、忌憚のないご意見を当編集部あてにお送りください。

また、わたくしどもでは、みなさんの斬新なアイデアをお聞きしたいと思っています。

「私のアイデア」を生かしたいとお思いの方は、どしどしお寄せください。これからの企画にできるだけ反映させていきたいと考えています。

採用の分には、記念品を贈呈させていただきます。

なお、お寄せいただいた個人情報  
報は編集企画のためにのみ利用させていただきます。

青春出版社 編集部

にほんじん れいぎ さほう  
日本人 礼儀作法のしきたり

青春新書  
INTELLIGENCE

2007年9月15日 第1刷  
2007年9月20日 第2刷

監修 いいくら はる たけ  
飯倉晴武

発行者 小澤源太郎

責任編集 株式会社 プライム涌光

電話 編集部 03(3203)2850

発行所 東京都新宿区 株式会社 青春出版社  
若松町12番1号  
☎162-0056  
電話 営業部 03(3207)1916 振替番号 00190-7-98602

印刷・堀内印刷

製本・豊友社

ISBN978-4-413-04181-2

©Harutake Iikura 2007 Printed in Japan

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写(コピー)することは著作権法上認められている場合を除き、禁じられています。

日本人  
礼儀作法のしきたり

飯倉晴武〔監修〕

青春新書  
INTELLIGENCE



## はじめに

日常生活における「礼儀作法」とは、日本人が長い歴史の中で、いろいろな生活環境に対応しながら培ってきた人間関係の知恵といえます。ただ現在では、形骸化しているものも少なくありません。たとえば、

- ・ 訪問の際、手土産を玄関先で渡してはいけない
- ・ 和室に入る前には必ず「咳」しわぶきをする
- ・ 割り箸は、縦にして割ってはいけない
- ・ 神社に参詣する際、神前で鈴を鳴らす
- ・ 中秋の名月にはすすきを供える

……などのしきたりは、形式的には知っていたとしても、そこに込められた“意味”を知っている人は意外に少ないのではないでしょうか。

そこで本書では、今に残るさまざまな礼儀作法の原点や“なぜ？”に触れてみました。礼儀作法といえは「エチケット」という外来語が思い浮かびますが、このエチケット、

フランス語で「札・荷札」のこと。昔、宮廷に入るときに訪問者が渡された通用札で、宮廷内における「行動指示書」でした。後に「宮廷儀礼」のことを指すようになり、さらに一般社会におけるマナーを「エチケット」と呼ぶようになったといわれています。

その「エチケット・西洋風行儀作法」が日本に入ってきたのは明治になってからですが、明治政府は、わが国独自の行儀作法を普及させようと、室町時代から続く作法の手引書である小笠原流などをもとに体系化を図ります。ふすまのあけたての作法、贈り物と水引みずひきの作法、三三九度の作法などを、日本人の礼儀作法として学校教育でも教え始めたのです。さらに当時は、親から子へ、子から孫へと、さまざまな生活場面での礼儀作法が、連綿と伝えられていくのがふつうでした。

しかし、それが戦後、核家族化が進み、さらに平成の世になって、親や年配者から礼儀作法や伝統を教わる機会はどんどん少なくなっています。

そんな時代に、本書が、受け継がれてきた礼儀作法と、そこに込められた心づかいや伝統を再認識するきっかけになればと思っております。拙編著『日本人のしきたり』『日本人数のしきたり』と併せまして、日本の素晴らしさを見直していただければ幸いです。

日本人 礼儀作法のしきたり 目次

第一章 訪問・接客の作法 19

- 訪問する——相手宅におじゃまする前に心得ておきたいこと 21
- 訪問先の玄関前で——呼び鈴・チャイムを鳴らす前にまず…… 22
- 玄関に入ったら——間違えやすい、脱いだ靴のそろえ方 23
- 手土産を渡す——どのタイミングで差し出すのが正しい？ 24
- 手土産を選ぶ——気づかいが表れる選び方 26
- 座布団の使い方——どうすわるのが美しいか？ 27
- お茶をいただく——出されたときの作法 29

- 和菓子をいただく——楊枝の上手な使い方 30
- おいとまの仕方——どのタイミングで切り上げるか 31
- お客様を迎える——「もてなし」の心得 33
- 玄関でお迎えする——お客様の第一印象はここで決まる 33
- 家の中にお通しする①——どのように案内するか 34
- 家の中にお通しする②——洋室と和室の上座と下座は？ 35
- 席次を決める——上座と下座の区別がつきにくい部屋の場合 37
- 和室の入り方①——ふすまと咳の関係 38
- 和室の入り方②——ふすまの正しい開け方 39
- 茶菓を出す——品のいい出し方 40
- おもたせ——いただいたものをその場で出すか、出さないか 42
- 引越しのご挨拶——なぜ、蕎麦が定番だったのか 43

## 第二章 日常生活の作法 45

- 和室に暮らす——なぜ「敷居」や「畳のへり」を踏んではいけないのか 47
- 年賀状を書く①——いつまでに届けば許されるか 48
- 年賀状を書く②——心づかいが感じられるひと言 49
- お中元・お歳暮を贈る——何を贈るか迷ったときに 50
- お見舞いに行く——お見舞いの品で避けたいもの 53
- 贈り物の表書き——慶事と弔事、それぞれの場合の適切な書き方 54
- お礼状を書く——状況によってタイミングが違ってくる 56
- 神社に参詣する——二礼二拍手一礼の正しい拝礼法 57
- 厄年の厄払い——いろいろある厄払いの作法 59
- お墓参りをする——手を合わせるまでの手順 61
- 仏壇に手を合わせる——朝夕に、この手順で二度行う 62

日ごろの人付き合い——今こそ参考にしたい「江戸しぐさ」 64

### 第三章 祝い事の作法 67

出産祝いをする——お祝いの際に注意したいこと 69

内祝いをする——そもそも内祝いとはどういうことか 70

お宮参りをする——本来は何のために行うもの？ 72

初誕生日祝いをする——何を贈るのがふさわしいか 73

進学祝いをする——親も子どもも喜ぶ贈り物は？ 74

成人式のお祝いをする——祝賀の席で注意したいこと 76

就職祝いをする——贈ったほうも贈られたほうも喜べる作法 77

昇進・栄転のお祝いをする——金品を贈るだけでなく…… 79

新築祝いをする——招待する側・される側、それぞれの作法 81

引つ越し祝いをする——縁起のよい贈り物・悪い贈り物 82

祝賀パーティをする——立食パーティでの犯しがちなタブー 84

退職・退官のお祝いをする——感謝の気持ちをどう形にするか 86

長寿祝いをする——今どきの還暦の祝い方 88

## 第四章 結婚・婚礼の作法 91

招待状が届いたら——返信はがきの書き方の作法 93

お見合いをする——今、あらためて見直したいしきたり 94

祝電を打つ——どのような電文にするか 96

男性の服装——失礼のない服装の基準 97

女性の服装①——洋装で行くときのマナー 99

女性の服装②——和装で行くときの作法 100

ご祝儀を渡す——何に注意して渡すか	101
神前結婚式に出席する——神式でのこんな作法	102
キリスト教式結婚式に出席する——出席したときの注意点	104
披露宴——入るとき、出るとき的心づかい	105
お祝いの言葉をかける——気が利いた挨拶とは	107
結納をする——なぜ、このような儀式が必要なのか	108
仲人をお願いする——なぜ、仲人が必要だったのか	110
媒酌人をお願いする——仲人とはどう違う？	112
招待状を出す——来賓予定者に送るときの注意	113
式の席次を決める——失礼がないようにするために	114

## 第五章 食事の席の作法

117

- 日本料理をいただく①——知っておきたい日本の二つの代表的料理 119
- 日本料理をいただく②——煮物類と魚肉類のいただき方の約束 120
- 日本料理をいただく③——絶対にしてはいけないこと 122
- 日本料理をいただく④——知らずにやっている不作法の典型 123
- 日本料理をいただく⑤——よりおいしくいただく箸の進め方 124
- 箸を上手に使う①——和食の作法は箸に始まり箸に終わる 125
- 箸を上手に使う②——恥ずかしい箸使いの典型 127
- 箸を上手に使う③——箸の歴史といわれ 129
- お椀をいただく——どういただくのが上品か 130
- 器の扱い方——手に持ってよいもの、いけないもの 131
- お酒をいただく——お銚子の注ぎ方に品が出る 133

- 洋食をいただく①——置いてあるナプキンはいつ、どう使う？ 134
- 洋食をいただく②——ナイフとフォークのきれいな使い方 136
- 洋食をいただく③——スープとパンをいただくとき 137
- 洋食の席でのタブー——これをやったら白い目で見られる 139
- 中華料理をいただく①——日本料理の作法との大きな違いとは 140
- 中華料理をいただく②——意外に知らない円卓の作法 141
- 中華料理の席でのタブー——れんげの使い方、上客かどうかわかる？ 143
- デザートをいただく——最後まで上品に食事を終わらせるために 144
- 立食パーティに参加する①——意外に知られていない基本のマナー 145
- 立食パーティに参加する②——上品に見えるグラスの持ち方 147
- 立食パーティに参加する③——皿に盛った食事をいただく際に 148
- 立食パーティに参加する④——食べ終わった皿はどうする？ 149

第六章 葬式・法事の作法 151

訃報に接したとき———すぐにやるべきではないこと 153

通夜・お清めの席———通夜ぶるまいでの礼儀 154

香典を渡す———失礼のない差し出し方 155

袱紗に包む———どう折るのが正式か 157

不祝儀の作法———いくら包めばよいか迷ったときに 158

焼香をする———どのような手順であればよいか 159

神式の葬儀に参列する———拝礼方法と玉串の捧げ方 160

献花をする———お花の美しい手向け方 161

遺族へ挨拶をする———どんな言葉がふさわしいか 162

法事に参列する———葬式、一周忌、三回忌……での作法 164

香典返し——いつ、どのようにお返しするか 165

## 第七章 年中行事の作法 167

正月の挨拶——年始回りと年賀状の起源 169

おせち料理をいただく——それぞれの食材に込められた願い 170

正月の食の風習——鏡餅、七草がゆを食べる前に 173

豆まきをする——どのように行うのが正式か 174

ひな祭りを祝う——幸せな縁組みを願うために 176

お彼岸の法事——この期間ならではの作法 178

端午の節句を祝う——チマキを食べ、シヨウブ湯に入る理由 179

七夕を祝う——短冊に何を書けばよいか 181

お盆の法事——どのようにご先祖様を迎えるか 182